

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ルネサス 技術情報

〒 100 - 0004
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号
 (日本ビル)
 TEL (03)5201-5219 (ダイヤルイン)
 株式会社 ルネサス テクノロジ 第一事業本部
 マイコン事業部 MCU 製品技術部

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-492A	Rev.	第1版
題名	MMCIF マルチブロックリード時の転送データブロックサイズについて	情報分類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③. 使用上の注意事項 4. マスク変更 5. ライン変更		
適用製品	SH7760	対象ロット等	関連資料 SH7760 ハードウェアマニュアル 第1版 (ADJ-602-328(H))	有効期限	
		全ロット		永年	

MMCIF マルチブロックリード時の転送データブロックサイズに関して下記の注意事項がありますので、ご理解、ご了承いただけますようお願い申し上げます。

1. 不具合概要

MMCIF が通信先に対してマルチブロックリードコマンド(CMD18)を送信後に、コマンドレスポンス受信完了よりも、最初のデータブロック受信完了が早いとき、コマンドレスポンスを正常に受信できないことがあります。

2. 不具合発生条件

以下の3つの条件をすべて満たした時に、本不具合が発生します。

- ・マルチブロックリードコマンド(CMD18)送信
- ・転送データブロックサイズを、1,2,4,8 バイトに設定
- ・データブロック受信完了(データブロックのエンドビット受信)以降に、コマンドレスポンスを受信完了(コマンドレスポンスのエンドビット受信)

3. 不具合回避策

1. CMD18 送信時に、転送バイト数カウントレジスタ(TBCR)において、転送データブロックサイズが16 バイト以上に設定されていれば回避できます。
2. CMD18 送信時に、転送データブロックサイズを1,2,4,8 バイトに設定することが必要なときは、最初のデータブロック受信完了までに、コマンドレスポンス受信を必ず完了できることを確認してください。
最初のデータブロック受信完了までに、コマンドレスポンス受信を完了するには、

図1 . コマンドレスポンスとデータ受信のタイミングにおいて、
 $(NAC\ cycles + Read\ Data\ cycles) > (NCR\ Cycles + Response\ cycles)$
 にする必要があります。NAC, NCR については通信先の仕様を確認してください。

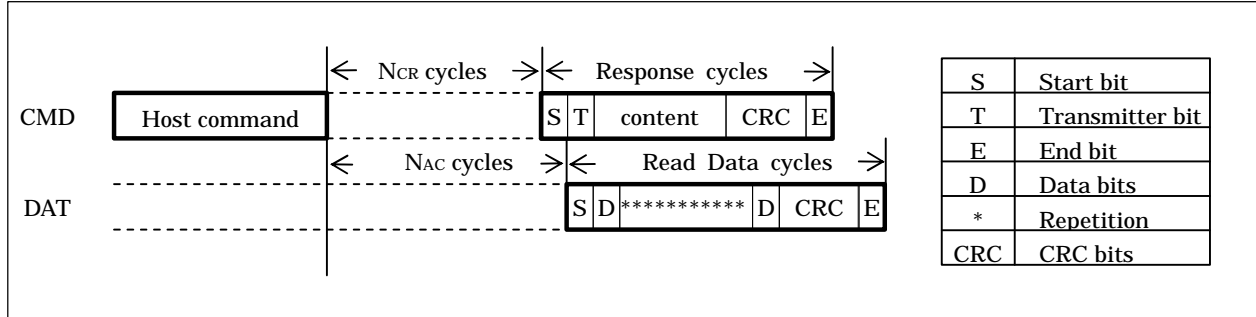


図1 . コマンドレスポンスとデータ受信のタイミング